

よこのやま新聞

田植えシーズン到来



待ちに待った田植えの時期がやってきた。ゴールデンウィークを過ぎた辺りから松之山が田植え一色に。各所でトラクターや田植え機が動く姿を見ていると

「ああ、今年も始まったな！」と心躍るものがある。それにしても松之山の田はやはり美しい。

ブログもやってます「よこのやまぶるぐ」



恵みの小雪であったはずだが、今年の田んぼにとっては厳しい状況となっている。雪解け水が少ないと同様に今年の少雨の影響...

氷が少ないうちの戦い

「私がやらせていた方がいい田んぼはもろに水の影響を受けている。3枚のうち1枚はため池もありかろうじて水を確保できるが、既に貯水量が半分を切っている状態だ。残る2枚は周りに清水の水源やため池の無い水田で、全く水が入って来ない状態となっている。今後どうするか非常に頭が痛い。今後の降水量の状況によってはであるが、今年の田んぼは中々に厳しい状況下にある事は否めない。」

朝日はしっかり当たると。雪解け水と雨水を確保するため池がある。圃場の高低差がやや大きく、山側が浅く逆方向が深い為、除草剤が効きづらい箇所がある。現在ちよくちよく手で草を取っている。移植方法は歩行式2条植え田植え機を使用。

しかしながら、この農法は過疎と休耕田増加を食い止める可能性を見いだせるのではないかと考えている。十日町振興局に問い合わせをして、県内の栽培事例を知り、実際に取り組んでいく。農家さんを見学に行く。諦めは悪いほうだ(笑)

完全に私の勉強と経験が不足しており、今年の鉄コティイング直播は残念ながら失敗に終わった。顛末はブログに記載したので参照されたい。そもそも不向きな田で行っていたのだ。

鉄コティイング直播失敗

田んぼ状況について

今年合計3枚の田んぼ約1.8反歩を作らせていただいている。今年ほどにたく勉強。来年はさらに規模を拡大させ、実際に販路に乗せることができるような体制を整え、集落を越えた協力体制がとれる仕組みづくりの土台にした。ちなみに以下は私が管理する田んぼの状況だ。

①1.3反..慣行栽培 1年ほど休耕田となっていた。南と西側に小高い山がありその裾に面している田んぼ。日照量は少ないが

②3畝..鉄コティイング 1年ほど休耕田となっていた。南と西側は①と同様に山裾に面している。圃場はほぼ水平。①に隣接する田だが、ため池よりも高い場所にあるため、ため池を利

③2.5畝..手植え 3年以上放棄された田。南側に小高い木々が立ち並びが日当たりは良好。山から染み出る湧水のみを水路とする。だが、代掻きの後で気付いたのだが畔の一部から水が漏れており、晴天が続くと入る量より出る量が多い為水が溜まらない。何年か前に土砂崩れがあった場所だそうだが、それが影響しているのかどうか。